

あまくさ
市議会だより

結

— ゆ い —



天草拓心高校吹奏楽部 熊本県立劇場にて(令和8年7月23日)

— 音でつながる、笑顔で奏でる —

一つ一つの音が重なり合って、ひとつの美しいハーモニーが生まれる吹奏楽。
天草拓心高校吹奏楽部は周りの音に耳を傾け、お互いを思いやりながら音を紡いでいます(詳細は裏表紙に掲載)。



老朽化により破損した牛深温泉センター やすらぎの湯の貯湯タンクを更新

予算決算委員会付託

観光施設整備事業

2,805万7千円

令和8年5月13日に破損した牛深温泉センターやすらぎの湯の貯湯タンクの更新を行う。



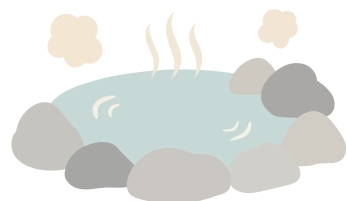
▲牛深温泉センターやすらぎの湯の貯湯タンク破損状況

問 現在の設備の稼働状況は。

答 仮復旧工事を行い、5月20日から再開している。

問 更新後のタンクの耐用年数はどれくらいか。

答 設置条件によって差はあるが、一般的なステンレス製タンクの耐用年数は、20年から40年である。



観光業を支援するため、市内宿泊施設の宿泊者へ 電子地域通貨「天草のさりー」を発行

観光宣伝事業(がんばる天草応援事業)

2億1,323万3千円

令和8年熊本地震による予約キャンセルや風評被害で大きな影響を受けている市内宿泊施設の宿泊者に対し、観光応援券として電子地域通貨「天草のさりー」を発行するほか、正確な観光情報の発信を行う。

問 天草のさりー受け取りまでの流れは。

答 宿泊者が市内宿泊施設の予約後、専用ウェブサイトで天草のさりー発行の申請。チェックイン時にスマートフォンへアプリをダウンロード、天草のさりーをチャージすることで利用可能となる。

問 観光客に電子地域通貨での支給はハードルが高いと考える。紙の商品券の交付を今からでも検討するべきではないか。

答 国や県の支援が10月頃になると想定している。その前にスピード感を持った支援を行いたいと考えた。紙の商品券の発行についても検討したい。

問 事業者が「天草のさりー」取扱業者に登録するときの費用負担はあるのか。

答 事業者の費用負担はない。

問 事業の開始時期は。

答 9月中旬を目標としている。シルバーウィークには利用できるよう努めたい。

天草元気旅
チャージ券
(10月以降分)
宣伝広告▶



令和8年第5回定例会を8月25日(火)から9月18日(金)までの25日間の会期で行いました。

条例の改正や補正予算、決算などの議案が提出され、審査・審議の結果、議員提出議案1件を否決し、その他の議案は原案どおり承認・可決・認定しました。

今号では、議案の中から3件を紹介します。

今回の議案等は33件

※議案等一覧は6ページに掲載

- 報告……………5件
- 承認……………1件
- 条例……………2件
- その他の議決事項……………3件
- 予算……………9件
- 決算……………12件
- 議員提出……………1件



旧国民宿舎跡地(天草町)に展望公園や RVパーク(※)を整備

予算決算委員会付託

鬼海ヶ浦展望公園整備事業

1億6,316万3千円

旧国民宿舎跡地に絶好のロケーションを生かしたRVパークやドッグラン併設の展望公園を整備する。

主な整備施設

- 展望デッキ
- RVパーク(4台分)
- ドッグラン
- 多目的スペース
- ほか



問 RVパークの予約や支払いの管理は。

答 予約から利用料支払いまで、全てウェブ上で完結させるシステムとする。

問 完成後は料金収入により運営できるのか。

答 利用料は1泊4,000円で、維持管理コストを上回る収入が期待できると試算している。

問 供用開始の時期は。

答 令和9年7月の供用開始を目指している。

(※)RVパーク…キャンピングカーなどで快適に安心して車中泊ができる有料の駐車(宿泊)スペース

◀RVパーク駐車区画イメージ

子どもはぐくみ応援事業 250万円

子どもや子育て家庭を応援する子ども食堂などの活動を行う団体を支援する。

問 団体の総事業費は。

答 令和7年決算によると約307万円である。

問 年間約230回の食材受け取りの実績があるが、受取日の集約はできなかったのか。

答 食材提供者の都合もあるが、受取日程を調整・集約し、効率化を図っている。



出水駅・蔵之元港間 シャトルバス運行事業 1,500万円

シャトルバスを運行し、九州新幹線利用の観光客と地域住民の移動手段確保と利便性の向上を図る。

問 各市町の負担額は。

答 負担金の総額は2,250万円で、本市1,500万円、阿久根市170万円、出水市384万円、長島町196万円を負担している。

問 他自治体の交通区域に本市が多額の負担をすることには疑問がある。構成団体の熊本県や鹿児島県にも負担を求めるべきでは。

答 指摘や意見を踏まえ、今後の運用について検討したい。

地方バス路線運行維持対策事業 4億9,312万1千円

地域公共交通として必要な移動手段を確保し、地域住民等の移動手段確保と利便性の向上を図る。

問 乗合タクシー導入に伴い、バス路線に対する補助金は抑制されたのか。

答 一部区間廃止等も行いながら、抑制の取組を進めている。

問 高校への登下校時間にバスの運行がなく困っている家庭が多い。運行時間の見直し状況は。

答 交通再編の取組の中で、通学等に考慮した協議をしている。



令和7年度 一般会計歳入歳出決算などを認定

予算決算委員会では、9月7日から4日間にわたり令和7年度一般会計および特別・企業会計歳入歳出決算の審査を行い、すべて認定すべきものと決定しました。

なお、決算の詳細については、市政だより天草11月号に掲載されていますので、本紙では審査の際の質疑の内容などをお知らせします。



令和7年度一般会計決算額

歳入 654億6,330万1千円
歳出 611億2,314万6千円

〔歳入、歳出には基金の取り崩し金36億5,134万5千円および積立金41億6,421万1千円を含む。〕

※金額はすべて千円単位で四捨五入しています。

【決算審査における議会の意見】

委員会では、執行部に対して、事業の実績や成果について説明を求め、審査を行いました。特に重要と思われる事業については、市議会として、決算に係る意見・要望を取りまとめ、執行部に提出しました。

令和9年度当初予算審査の際には、この意見・要望がどのように予算に反映されているのか説明を求め、審査を行うこととしています。

デジタルアートの島創造事業 6,481万7千円

デジタルコンテンツ産業を創出することで若者や女性の地元定着やUIターン就職促進を図る。

問 令和7年度の成果は。

答 誘致企業が2社、クリエイターの誘致は5人。また、天草工業高校ではCG系列を全学年から35人が学ぶなど、人材育成と企業誘致を進めている。



▲天草工業高校のCG制作授業

地域通貨発行事業 2,732万2千円

市内でのみ使用できる天草宝島商品券及び電子地域通貨「天草のさりー」を発行し、地域経済の活性化を図る。

問 チャージされた金額は。

答 年間のチャージ額は3,199万円であった。

問 普段使いの利用状況は。

答 毎月150～200人の方が普段使いされており、チャージ額は300万円程度である。

問 マイナンバーカードの利便性向上策は。

答 通信環境の問題や読取機器の扱いづらさがある。利用環境などの改善に努めたい。



企業誘致促進事業 3,252万5千円

企業誘致により、新たな雇用の場を創出し、若者等の地元定着を図る。

問 誘致企業39社の地元雇用者数と撤退した企業数は。

答 令和7年度末で90名の雇用があり、7社が撤退している。

問 撤退時の支援金返還は。

答 国の基準と照らし合わせ、その都度検討している。これまで返還の要件に該当した企業はない。



▶進出企業フェア

牛深港周辺整備事業 1,636万円

牛深港周辺エリアを中心とした海業の振興により、旧漁協跡地再開発や地域住民・企業と連携した地域の活性化を図る。

問 民間活力の導入についての事業者ヒアリングにおいて、民間事業者の反応は。

答 28社と話合いの場を設け、市内8社や全国規模の企業など15社程度から事業への参画に前向きな態度が示された。



牛深ライフ遊学事業 471万4千円

地域のにぎわいづくりの創出や関係人口の増加、移住定住の促進を図るため、都市圏からの若者を受入れ、地域おこし協力隊を任用する。

問 採用された協力隊員3名による成果は。

答 協力隊員の滞在により、地域に刺激が与えられたほか、協力隊員の家族や友人が牛深を訪れることで、交流人口の増加につながった。

問 事業の最終的な目標は。

答 人口約2,200人の離島、島根県海士町に年間約200人の若者の交流があり、それを目標に取り組んでいる。

市有財産施設整備事業 9,134万3千円

市庁舎や普通財産を適正に管理し、施設の延命化を図る。また、老朽施設等は解体し、土地の有効活用を図る。

問 安全性に問題がない施設の解体は後に回し、売却が見込まれる土地の建物を優先的に解体するなど、土地の有効活用が促進される解体計画に見直してはどうか。

答 市有財産の解体は、危険度の高い建物や敷地の利活用が見込まれるものから計画的に解体を進めている。今後は解体予定の建物について、優先順位の検討も含め計画を見直したい。



本会議、常任委員会などの議員出欠状況

開催日	委 員 名	総務政策常任委員会					市民生活常任委員会					建設経済常任委員会					教育厚生常任委員会						
		委	副				委	副				委	副				委	副					
		濱 洲	吉 田	浜 崎	若 山	宮 下	植 田	柳 田	生 柴	五 嶋	養 田	鯖 江	赤 城	浦 本	五 門	澤 口	井 川	小 竹	金 子	勝 木	中 尾	藤 崎	松 岡
7月 27日	常任委員会（市民生活）							○	○	○	○	×	○										
8月 18日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月 25日	第5回定例会 本会議（開会、提案理由の説明）	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月 28日	本会議（質疑）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月 31日	常任委員会（市民生活・建設経済）							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
9月 1日	常任委員会（総務政策・教育厚生）	○	○	○	○	○												○	○	○	○	○	○
9月 2日	常任委員会（予算決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月 7日	常任委員会（予算決算）	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
9月 8日	常任委員会（予算決算）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月 9日	常任委員会（予算決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月10日	常任委員会（予算決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月14日	本会議（一般質問1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月15日	本会議（一般質問2日目）	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	常任委員会（教育厚生・予算決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月16日	本会議（一般質問3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月18日	本会議（委員長報告・討論・採決・閉会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※若山敬介議長は、常任委員会（予算決算）には委員外議員として出席

【議会運営委員会】

開催日	委 副							議長 副議長	
	勝木	柴田	中尾	五通	五嶋	澤井	鯖江	竹本	若山
8月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月25日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月16日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※若山敬介議長と小川圭三副議長は、委員外議員として出席

※令和8年第4回定例会終了後から令和8年第5回定例会までの間に開催された本会議及び委員会などへの出欠状況を掲載しています。
※「○」は出席、「△」は遅参・早退等、「×」は欠席、「／」は所属外等、「委」は委員長、「副」は副委員長を表しています。

【議会改革調査特別委員会】

開催日	委 副						
	中尾	宮下	門口	鯖江	浦本	赤城	柳田
8月18日	○	○	○	○	○	○	○

【広報広聴委員会】

開催日	委 副						
	吉田	澤井	濱洲	柴田	五嶋	柳田	金子
7月 3日	○	○	○	○	○	○	○
7月10日	○	○	○	○	○	○	○
8月28日	○	○	○	○	○	○	○
9月 2日	○	○	○	○	○	○	○
9月10日	○	○	○	○	○	○	○

令和8年第5回天草市議会（定例会）議案等

議案番号	件 名	付託先	議決の結果
報告第7号～8号	専決処分事項の報告について（市内において発生した事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて専決処分したので、議会に報告するもの）	—	—
報告第9号	令和7年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について（地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、議会に報告するもの）	—	—
報告第10号～11号	専決処分事項の報告について（市内において発生した事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて専決処分したので、議会に報告するもの）	—	—
議第60号	専決処分事項の承認について（令和8年度天草市一般会計補正予算第3号）（令和8年熊本地震に伴う被災者支援等に係る経費として専決処分したため、議会の承認を求めるもの）	付託省略	承認
議第61号	天草市新型コロナウイルス感染症対策基金条例を廃止する条例の制定について（天草市新型コロナウイルス感染症対策基金を廃止するもの）	総務政策	原案可決
議第62号	天草市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例及び天草市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について（国の法律等の一部改正に伴い、条例を改正するもの）	教育厚生	原案可決
議第63号～64号	字の区域の変更について（土地改良事業（柵宇土町、五和町）に伴う字の区域の変更を行うため、議会の議決を求めるもの）	総務政策	原案可決
議第65号～68号	令和8年度天草市一般会計補正予算（第5号） 令和8年度天草市介護保険特別会計補正予算（第2号） 令和8年度天草市病院事業会計補正予算（第1号） 令和8年度天草市下水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算	原案可決
議第69号～80号	令和7年度天草市一般会計歳入歳出決算の認定について 令和7年度天草市特別会計歳入歳出決算の認定について（国民健康保険特別会計など8件） 令和7年度天草市病院事業会計決算、水道事業会計利益の処分及び決算、下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	予算決算	認定
議第81号	令和8年度天草市一般会計補正予算（第4号）	付託省略	原案可決
議第82号	損害賠償の額の決定について（市立病院において発生した事故に係る損害賠償の額を定めるため、議会の議決を求めるもの）	教育厚生	原案可決
議第83号～86号	令和8年度天草市一般会計補正予算（第6号） 令和8年度天草市病院事業会計補正予算（第2号） 令和8年度天草市水道事業会計補正予算（第2号） 令和8年度天草市下水道事業会計補正予算（第3号）	予算決算	原案可決
議員提出第4号	非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	議会運営	否決

地方議会からの行政視察を受け入れています!!



▲山形県尾花沢市議会からの行政視察

本市の特色ある事業を視察するため、全国各地の議会の行政視察を積極的に受け入れています。令和7年は16団体115人、令和8年は9月末現在4団体21人の議員の皆様が来訪されました。

視察では、本市の取組などについて意見交換が行われるほか、市内での宿泊や食事をしていただくことで地域活性化にもつながっています。

これまでの受入実績（天草市 HP）▶



議員提出第4号		非核三原則の堅持を求める意見書の提出について																				賛否表				
会派名	天政会					北辰会			政友会			新風天草	市民クラブ	公明党	絆						表決数	結果				
議員名	勝木幸生	宮下幸一郎	小川圭三	鯖江達朗	金子馨	竹本亨	藤崎正博	赤城史浩	吉田修	柴田誠	門口徹	松岡寿	中尾友二	濱洲大心	五嶋善彦	浦本力	五通俊作	柳田光芳	澤井一富	生嶋祥子			浜崎昭臣	若山敬介	養田庸子	植田貴俊
議員提出第4号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○			○	○	一	○
		8:15																							否決	

※電子表決システムによる採決により賛否が分かれたものに限ります。
※若山敬介議員は議長職のため、表決には加わりません。



公共施設の在り方、地震に強いまちづくりについて

吉田 修(北辰会)



【人口減少時代における公共施設の在り方について】

問 令和3年度末には、2,633施設が本市に存在していた。天草市公共施設等総合管理計画の進捗状況は。

答 令和8年3月末までに廃止、統合、解体など合計221施設を整理した。計画策定時の目標172施設を上回る進捗状況である。

問 公共施設再編で生まれた財源を市民生活に真に必要な分野へ重点配分すべきでは。

答 市民生活に必要な行政サービスを守り、必要な分野へ財源を重点化するためにも、公共施設の再編に取り組んでいく。限られた財源を有効活用しながら、将来のまちづくりにつながる取組を進めていく。

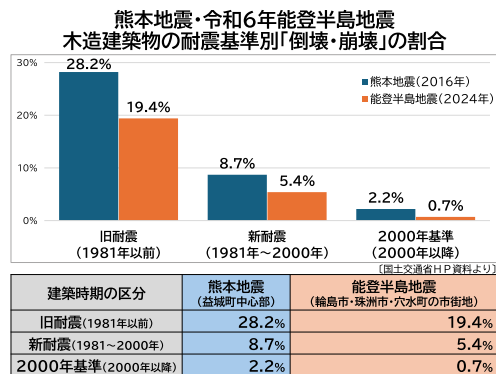
【住宅の耐震化と地震に強いまちづくりについて】

問 耐震基準によって、住宅の倒壊リスクは高まる。本市の住宅耐震化率の現状は。

答 天草地域の住宅耐震化率は63.9%、他市と比較しても低い水準である。

問 本市の計画では令和17年までに住宅の耐震化を「概ね解消」としている。初期費用を抑える制度と今後の具体的な取組は。

答 市が直接、工事等を行った業者へ補助金を支払う代理受領制度のほか、固定資産税の減額、所得税額の優遇措置もある。今後も普及啓発に加え、国・県への補助上限額引上げ等の要望を積極的に行っていく。



公共施設等への空調設備の整備状況について

中尾 友二(新風天草)



【今後の整備予定施設数、整備方針及び整備計画について】

問 地区コミュニティセンター内の講堂や体育施設等への空調設備整備の進捗状況は。

答 市内のコミュニティセンター 53施設のうち100㎡を超える講堂等を有する施設は47施設あり、空調設備の整備が完了している施設数は34施設である。未整備の施設で整備が必要な11施設のうち8施設については、避難所に指定されているため、年間3か所程度のペースで計画的に整備していく。また、避難所として指定されていない3施設の地区コミュニティセンターについては、利用状況や活用状況等も考慮しながら着実な整備を検討していく。

地区コミュニティセンターは、幅広い年齢層が利用する施設。利用者が安全安心に利用できる環境を整えることが公共施設の在り方である。

問 児童館への空調設備の設置状況は。

答 本市が管理する児童館は、本渡地区に4か所、河浦地区に1か所設置している。いずれも、集会室と図書室には空調設備を設置しているが、遊戯室については河浦中央児童館の設置としている状況である。

近年の気象状況の中で、特に子どもは体温調節がうまくできないことから、空調設備が未整備の遊戯室については、できるだけ早期に整備を進めていきたい。



▲わくわく本渡児童館の遊戯室



災害時の水道確保、病院事業の維持、公共施設の老朽化について

柴田 誠(政友会)



【災害時の水道確保について】

問 御所浦地域で災害時に利用できる井戸の整備やポンプの設置はできないか。

答 既存井戸を調査し、活用を検討する。

問 災害への備えとして、国の補助や有利な起債等を活用し、海水を淡水化する機械を御所浦地域に配備できないか。

答 災害時は井戸水の活用や海水淡水化装置で不足する水を補うことは有効となる。装置能力や利便性、経済性、さらに有利な財源の確保も踏まえ、総合的に検討する。

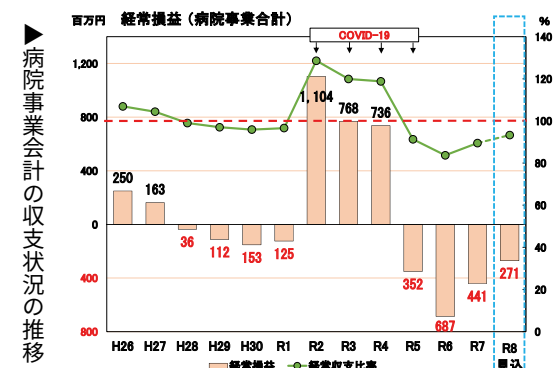
【病院事業の維持について】

問 病院事業全体の赤字額と今後の維持費等の金額は。

答 令和8年度決算見込み額は約2億7千万円の損失で4期連続の赤字決算。施設の維持管理、医療機器の更新費等は令和13年度まで約11億6千6百万円程度を見込む。

問 各地域に病院を残す決意は。

答 病院をできる限り存続させ、医療提供体制を維持していく。



【公共施設の老朽化について】

問 存続施設の年間の維持管理費用は。

答 令和4年度に改訂した市公共施設等総合管理計画では、保有施設を同等規模で改修等を行った場合、約79億円が必要と想定していたが、施設の統廃合や複合化等により約23億円まで縮減可能と想定している。

そこが聞きたい!!
ここを聞きたい!!

一般質問

9月14日から16日までの3日間で行った一般質問では、11人の議員が質問に立ちました。

通告番号	質問者	質問事項	ページ
1	柴田 誠	①災害時の水道確保について ②病院事業の維持について ③公共施設の老朽化について	P8
2	中尾 友二	①カモ類等の渡り鳥の被害について ②公共施設等への空調設備の整備について	P9
3	吉田 修	①人口減少時代における公共施設の在り方について ②住宅の耐震化と地震に強いまちづくりについて	P9
4	柳田 光芳	①過疎化に伴う人材確保策について ②ナショナルサイクルルート「あまいち」を生かした観光振興について	P10
5	浜崎 昭臣	①軍艦「長良」(軽巡洋艦)について ②天草地域のナショナルサイクルルート「あまいち」の指定について ③牛深区域の都市計画税について	P10
6	赤城 史浩	①大規模災害時における本市の対策について ②地域通貨発行事業について	P11
7	金子 馨	①天草版地方創生の取組について	P11
8	藤崎 正博	①本市の安全・安心な水道水の確保について ②令和8年熊本地震による倉岳町防風石垣崩落被害について	P12
9	植田 貴俊	①地域コミュニティの維持・活性化に向けた地域づくりの取組について ②天草市ファミリーサポートセンター事業の利用促進と支援体制の充実について ③令和8年熊本地震を踏まえた本市の防災・減災対策について	P12
10	五通 俊作	①本市の防災・減災対策について ②天草市総合計画後期基本計画の財政状況について	P13
11	養田 庸子	①生活を支える国保税の在り方について ②水道料金値上げがもたらす家計への影響について	P13



持続的な天草市の創生への挑戦について

金子 馨(天政会)



【本市の財政状況等について】

問 地方交付税の制度、財政調整基金、ふるさと納税について伺う。

答 地方交付税は使途の定めがない一般財源で、1人当たり年間の交付額は19歳未満で約33万円。令和7年度末の財政調整基金の残高は約106億円。本市の財政規模から見た必要残高は約60億円と見込んでいる。ふるさと納税は約19億円の寄附をいただき、約9億円を基金に積立てている。

【本渡看護専門学校について】

問 近年の入学人数と卒業生の天草への就職について伺う。

答 入学人数は年度で増減があり、20人から39人で推移。卒業生の半数以上が天草地域の医療機関等に就職し活躍している。

【本市の子育て支援について】

問 本市の出生数と子育て相談の現状は。

答 令和7年の出生数は312人。多様化するニーズに対応するため、天草市こども家庭センターを設置し、妊娠婦から子育て家庭まで一貫した相談・支援を行っている。

【倉岳山頂の観光振興について】

問 倉岳山頂への観光客の現状と観光資源としての評価は。

答 観光・ドライブ目的の来訪者が増加している。今後も観光客の増加が見込まれ、本市の極めて重要な観光資源と考えている。



倉岳山頂からの眺望



大規模災害時における本市の対策、地域通貨発行事業について

赤城 史浩(北辰会)



【本市の災害対策の強化について】

問 避難所におけるプライバシー確保のための資機材の整備状況は。

答 避難所でのプライバシーを確保するための資機材として、防災テント500セット、仕切り型間仕切りテント1,300セットのほか、熊本県が購入したテント式パーテーションを500セット受け入れ、合計2,300セット備蓄している。

問 大規模災害発生時の「避難」「災害ごみ処理」「ライフライン復旧」「生活再建」まで、各地域と行政が一体となった災害対応体制を強化していく考えはあるのか。

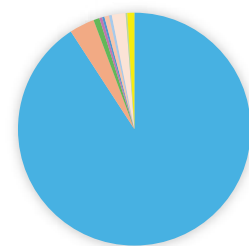
答 自主防災組織の体制強化を支援し、災害協定の見直しや新たな災害協定を推進する。自治体や民間の専門的知識や資源を活用し、初動対応から生活再建までの一連の流れを迅速かつ円滑に行えるよう取り組む。

【電子地域通貨天草のさりーについて】

問 令和7年度市政アンケート結果では、天草のさりーの普段使いは4.6%。天草のさりーのチャージ額の総額と登録店の利用実績は、特定の店舗や業種に偏りが見られるのではないか。

答 天草のさりーの令和7年度チャージ額は3,199万円。登録店舗970店舗のうち利用実績のある店舗は592店舗。業種別では、小売業85%、サービス業6%、飲食業5%、その他4%。地域別は90%が本渡地区に集中(下図参照)。

地区別利用店舗割合



■本渡	90.81%
■牛深	3.49%
■有明	0.83%
■御所浦	0.40%
■倉岳	0.32%
■栖本	0.64%
■新和	0.39%
■五和	1.92%
■天草	0.23%
■河浦	0.97%



軍艦長良、あまいち、牛深区域の都市計画税について

浜崎 昭臣



【軍艦長良について】

問 模型や記念館を新たに建設すれば牛深観光の目玉となり活性化に直結する。「長良」実寸の半分または3分の1程度の模型を旧牛深漁協解体跡地に設置できないか。

答 新たな模型の設置は考えていない。

問 検討委員会を立ち上げる約束はできないか。

答 牛深港周辺整備事業を進める中で記念館の在り方も、地域住民の皆様とも十分協議し検討していく。



▲軍艦「長良」

【ナショナルサイクルルート「あまいち」について】

問 本市の観光や地域活性化の進展に向けて、道路面も含めてどのような対策を考えているのか。

答 熊本県や関係市町、民間事業者、市民の皆様と連携・協力し、一つ一つ課題を解決しながら受入体制を構築していく。

【牛深区域の都市計画税について】

問 牛深区域の都市計画税の徴収は即廃止すべきである。向こう10年間徴収の免除か減税はできないか。

答 牛深区域の都市計画事業に必要な財源であり、都市計画道路や都市公園の整備等に充当している。今後も都市計画事業は継続して実施されるため、廃止や免除等は考えていない。



過疎化に伴う人材確保策、「あまいち」の観光振興活用について

柳田 光芳(公明党)



【過疎化に伴う人材確保策について】

問 市外・県外から経験や技能を身につけた人材を市内の中途採用につなげる取組強化の考えは。

答 新卒者だけでなく、豊富な経験を持つ市外在住者を呼び込むことは有効と考える。仕事と暮らしの情報を含め、採用促進につなげていく。

問 経験や技能を持つ人材を登録し、必要とする企業や地域につなぐ「人材バンク」の仕組みを検討する考えは。

答 資格や技能を持ちながら就労していない方の活用は有用と考えており、関係機関との役割分担や法律面も含め、本市の役割を研究・検討する。

【ナショナルサイクルルート「あまいち」を生かした観光振興について】

問 「あまいち」を走るだけでなく、立ち寄る、食べる、買う、泊まる行動につなげ、地域消費拡大につなげる取組について、市の考えは。

答 周遊、滞在時間の延長、地域での消費につなげることは極めて重要と認識しており、地域全体でのおもてなしを進める。

問 自転車を持たない観光客も「あまいち」を楽しめるよう、乗り捨て可能なレンタサイクルなどの受入環境を整備する考えは。

答 乗り捨てのレンタサイクルは幅広い層を取り込む上で有効であり、熊本県や関係市町、民間事業者と構築について検討する。





国保税の在り方、水道料金値上げがもたらす家計への影響について

養田 庸子



【生活を支える

国保税の在り方について】

問 国民健康保険制度の目的は。

答 医療費を社会全体で支え合い、加入者が安心して必要な医療を受けられる環境を確保する。

問 加入世帯数及び被保険者数の推移と今後の予測は。

答 加入世帯数、被保険者数は減少傾向で、今後も本市人口に合わせて減少を見込む。

問 国保世帯の平均所得の推移は。

答 令和5年度以降、横ばいの状態である。

問 物価高騰が止まらない中、所得が横ばいの状態では実質所得減である。持続可能な保険制度を守るためには公費の投入が欠かせないと思うが。

答 国は国保改革に伴い平成30年度以降、毎年度、約3,400億円の公費を投入している。また、全国市長会などは、毎年度、国に対し要望・提言を行っており、低所得世帯に対する均等割の軽減拡大、産前産後期間の保険料免除制度などが導入され、負担軽減につながる制度改革が行われている。

【水道料金値上げがもたらす

家計への影響について】

問 夏の猛暑が家計に与える影響を考えると、水道料金への補助が必要ではないか。

答 水道事業は独立採算が原則であり、一般会計からの財源措置が必要。国の物価高騰対策の動向や本市の財政を慎重に見極め、引き続き適切な家計支援策を検討したい。



防災・減災対策、天草市総合計画後期基本計画の財政状況について

五通 俊作(公明党)



【本市の防災・減災対策について】

問 災害が起きた後の復興を円滑に進めるため、平時から準備しておく「事前復興」について、本市はどのように取り組むのか。

答 事前防災や減災、迅速な復旧復興のため、本市では国土強靱化地域計画を策定している。必要性や実効性を見極めながら事前復興計画の作成を検討する。

問 災害が発生した場合のライフラインの確保について、市長の考えを伺う。

答 本市が孤立した場合を想定し、食料、水、簡易トイレ等の備蓄を行う。県や関係機関との連携による空路や海路による輸送手段の確保、本市地域防災計画や国土強靱化計画に基づき、道路・橋梁・護岸等の整備、消防・医療救護体制等の整備を行っていく。

【本市の財政状況について】

問 限られた財源の中で、どのようにして新たな挑戦を実現していくのか、市長の考えを伺う。

答 「スクラップ&ビルド」の発想を転換し、本市が優先的に取り組むべき事業を定めて、積極的に投資(ビルド)し、その財源のために既存事業を見直す(スクラップ)、攻めの財政運営の「ビルド&スクラップ」を徹底することで、市民サービスの質を維持しながら、本市の未来を切り拓く新たな挑戦を実現していく。

天草市総合計画後期基本計画 「安定した財政基盤の確立」成果指標

NO.	指標名	基準値	目標値
1	ふるさと納税寄附金	19.1億円 (R7年度見込み)	25億円
2	財政調整基金の残高	103.6億円 (R7.9)	60億円
3	公共施設の売却実績件数 (令和8年度からの累計)	8件 (R7年度見込み)	40件



地域づくりの取組、ファミリーサポートセンター事業の拡充、防災・減災について

植田 貴俊



【地域コミュニティと

地域づくりについて】

問 地域コミュニティの現状と課題は。

答 地域活動への参加率は上昇傾向にある一方、地域・世代間で差があり、役員の固定化や若い世代の参加不足が課題である。

問 持続可能な地域づくりに向け、住民主体の活動を行政としてどのように支え、地域同士や団体をどうつないでいくのか。

答 住民主体を基本とした地域活動で人材育成や若者の参画を進める。行政も財政支援や伴走支援を行い、ともに取り組む。

【ファミサポ事業の利用促進について】

問 天草市ファミリーサポートセンター事業におけるニーズや課題は何か。

答 送迎を伴う利用が8割を超え、需要が高まる一方、協力会員不足によるマッチング不成立や活動の負担に対する報酬額の不一致が課題となっている。

問 今後の利用・活動促進に向けた取組は。

答 協力会員の確保に向けた報酬額の見直しも含め、総合的に取り組む。



【熊本地震を踏まえた防災・減災について】

問 令和8年熊本地震を踏まえ、自主防災組織の活動の差をどのように解消し、地域の防災力を高めていくのか。

答 組織率向上と活動活性化を図るため、活動費補助や防災講話等の実施、市内一斉避難訓練に合わせた訓練等を提案する。今後も地域実情に応じた育成・支援に取り組む。



安全・安心な水道水確保、倉岳町防風石垣の修復について

藤崎 正博(北辰会)



【本市の安全・安心な

水道水確保について】

問 改定により令和9年4月から水道料金26%、下水道使用料30%の負担増。大幅な値上げの中で、水道加入申込みの推移は。

答 本市の過去5年間の申込数は令和3年度358件、4年度323件、5年度305件、6年度278件、7年度277件。

問 令和8年熊本地震では、県内11市町村で10万8,000戸に水道水の断水被害が発生した。天草市内では倉岳地区だけが断水したが、幸い4日間で断水は解消した。災害対応の教訓は。

答 倉岳地区は上天草・宇城水道企業団からの受水で、企業団の迅速な対応によって、短期間で断水解消した。外部支援に対し、受援体制の構築が重要と感じた。

問 未給水家屋への水道水供給について、水道加入の申込みをしても給水区域外などの理由で加入できない場合の支援事業はあるか。

答 上水道の困難な地域を対象とした小規模水道施設整備補助金がある。

【防風石垣の修復について】

問 熊本地震により被災した倉岳町防風石垣の修復はできないか。

答 防風石垣は個人所有の財産であり、現状では補助対象となる災害救助法の適用は受けていない。



▲防風石垣の被災状況

所管事務の調査

令和8年9月1日 総務政策委員会

(濱洲大心・吉田修・浜崎昭臣・
若山敬介・宮下幸一郎・植田貴俊)

総務政策委員会では、牛深港周辺整備事業の進捗状況等を把握するため、令和6年から所管事務調査を行っています。今回は、旧牛深漁協施設解体予定地の現地調査等の所管事務調査を実施しました。

現地調査先

- ・旧牛深漁協施設



▲旧牛深漁協施設の現地調査



調査を終えて

旧牛深漁協施設6棟のうち4棟について、8月中旬から令和9年2月26日までの工期で解体工事（解体費約1億5,139万円）を実施することでありました。

また、ソフト事業では漁業者の協力を得て令和7年度から「漁師体験」を開始し、これまでに22組、45人が刺し網漁やタコつぼ漁を体験されていました。

委員会では、令和7年度実施の民間活力導入可能性調査の結果も把握し、牛深港周辺エリアに必要な機能の配置や具体的な民間の参画条件について、地域や関係機関との合意形成が図られるよう今後も本事業の動向を注視し、委員会審査等に生かしていきます。

所管事務の調査

令和8年7月27日 市民生活委員会

(柳田光芳・生嶋祥子・柴田誠・
五嶋善彦・鯖江達朗)

市民生活委員会では、令和7年8月豪雨での被害を鑑み、雨水ポンプ場についての現状や課題を把握するため、現地調査など所管事務調査を実施しました。

現地調査先

- ・佐伊津雨水ポンプ場
- ・浄南雨水ポンプ場
- ・大川尻雨水ポンプ場（亀場町）
- ・瀬戸雨水ポンプ場
- ・一町田雨水ポンプ場

一町田雨水ポンプ場の
現地調査▶



▲浄南雨水ポンプ場の現地調査

調査を終えて

令和7年8月の豪雨による浸水被害を踏まえ、本市下水道処理区内の雨水ポンプ場の現状や課題を調査しました。

想定を超える雨量に対応するため、令和8年度中に内水浸水想定区域図を作成。令和9年度にシミュレーションを行った後、令和10年度に雨水管理方針及び段階的な対策計画を策定し、雨水貯留施設の整備やポンプの能力等の検討を行うことを確認しました。

委員会としては、今後の状況把握と情報共有を図り、議案審査等に生かしていきます。

政務活動報告（行政視察）

令和8年7月1日～4日 若山敬介

■視察先・視察内容

- ・広島県尾道市、愛媛県今治市、松山市
しまなみ海道ナショナルサイクルルート選定の経緯と現況について

視察報告

広島県尾道市、愛媛県今治市、松山市を訪問し、しまなみ海道におけるサイクルツーリズムの取組を視察しました。ナショナルサイクルルート選定までの経緯やブルーラインなどの走行環境、レンタサイクル、サイクルオアシス、荷物配送、修理・点検などの受入体制について調査しました。また、行政と民間事業者、地域住民が連携した推進体制やインバウンドへの対応、観光・宿泊など地域経済への波及について説明を受け、意見交換を行いました。



▲しまなみ海道モニュメント

調査を終えて

しまなみ海道では、道路整備だけでなく、地域の店舗等が休憩場所を提供するサイクルオアシスなど、地域全体でサイクリストを受け入れる仕組みが構築されていることが印象に残りました。また、自転車を単なる移動手段ではなく、観光や地域との交流につなげている点も大変参考になりました。本市においても、ナショナルサイクルルートの認定を受け、行政・民間・地域が一体となり、走行環境と受入環境の充実を進めることが重要です。今回の視察で得た知見を、天草の交流人口拡大や地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。

所管事務の調査

令和8年8月31日 市民生活委員会

(柳田光芳・生嶋祥子・柴田誠・
五嶋善彦・荻田庸子・鯖江達朗)

市民生活委員会では、所管事務である上水道に関し、御所浦地域で過去に使用されていた井戸の状況を確認するため、現地調査など所管事務調査を実施しました。

現地調査先

- ・御所浦地域の非常用井戸候補 4か所



▲井戸(牧島地区)の現地調査



▲井戸(嵐口地区)の現地調査

調査を終えて

御所浦地域における非常用井戸候補の設置場所や管理状況等を調査しました。

災害時の生活用水を確保するため、固定型と可搬型の手押しポンプの併用を検討し、導入の際には補助金や起債等を活用し、財源の確保を図りたいとのことでした。

委員会としては、被災により断水が発生した場合を想定した対策について注視するとともに、情報共有を図り、議案審査等に生かしていきます。

表紙写真等の提供 – 天草拓心高等学校 –

多くの皆様が市議会を身近に感じ、市政への関心を高めてもらうとともに、市議会だよりを手にとって読んでいただけるように、市内の高等学校から写真等を提供いただき表紙に掲載しています。

今号の表紙写真は天草拓心高等学校から提供いただきました。天草拓心高校吹奏楽部の皆さんは、「音楽を楽しむこと」を一番に日々の練習に励んでおられます。県吹奏楽コンクールでの金賞及び審査員特別賞の受賞、おめでとうございます。これからも皆さんが奏でる美しい天草拓心サウンドが各地で響きわたるよう応援しています。

天草拓心高校の皆さんからのコメント

7月23日に行われた第70回熊本県吹奏楽コンクール高校の部Aパートに出場しました。コンクールでは、これまでで一番の演奏ができ、金賞及び審査員特別賞を受賞、九州吹奏楽コンクール代表選考会の出場権を手にしました。残念ながら、代表選考会は熊本地震の影響で中止となりましたが、今後も応援くださる皆さんへの感謝を忘れず天草拓心サウンドを響かせたいと思います。



■次期(12月)定例会会期日程(予定)■

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23 勤労感謝の日	24 本会議 (開会、提案理由の説明)	25 休会	26 休会	27 本会議 (質疑)	28 休会
29 休会	30 市民生活委員会 建設経済委員会	12/1 総務政策委員会 教育厚生委員会	2 予算決算委員会 (補正予算審査)	3 休会	4 休会	5 休会
6 休会	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 休会	11 本会議 (委員長報告・ 討論・採決、 閉会)	12

※予定は変更になる場合があります。

市議会を見る・聞く

◎インターネット等で中継しています!

本会議の様子をインターネットで生中継・録画配信を行っています。また、ケーブルテレビでも中継を行っています。



▲市議会中継

◎本会議や委員会の傍聴ができます!

本会議や委員会は天草市役所3階の議場や委員会室で傍聴できます。詳しくは議会事務局にお尋ねください。



※会議は通常午前10時に開会します。

編集後記

酷暑の夏が過ぎ去り過ぎしやすい季節となりました。ふと気づけば今年も残すところ約2か月です。一日24時間が速いスピードで過ぎていきます。同時に文明の進化のスピードもとても速く感じます。

世の中はデジタル化が進み、紙でのやりとりが減ってきました。新聞を読む人が減り、辞書を引く人も少なく、お金は電子マネー、困りごとはAIに相談する時代です。文明の進化は暮らしを便利に、楽にしますが、人として大切な機能を退化させる副作用もあるようです。(濱洲大心)

広報広聴委員会

